

所属 理学部 生物化学科 化学コース 4年

氏名 藤川 奈緒美

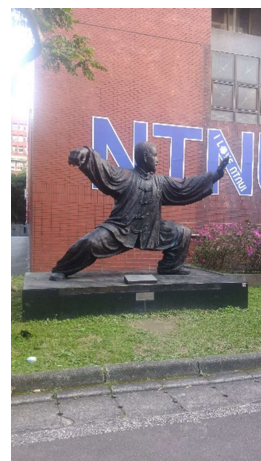
派遣期間 2019年3月12日～2018年3月20日

派遣先 台湾師範大学

台湾師範大学スプリングプログラム参加について

1. 初めに

2019年3月12日から20日まで台北市内にある台湾師範大学のスプリングプログラムに参加した。この経験を通し、理科の広い分野について授業やフィールドワークで学び、同大学の学生さんと交流することができた。



台湾師範大学

2. フィールドワークにて

フィールドワークでは、台中と南投に向かい、地震を起こした断層の測量及びエネルギーの算出、地震に関する資料館、特殊な地質地帯を訪問した。測量や地震のエネルギー計算是初めての経験であり同じグループのメンバーやTAさんと協力して行った。一度に2メートルほどもずれた逆断層や壊れた建物を目の当たりにし、後でエネルギーの大きさを求めたところ、改めてその規模を実感せざるを得なかった。

また、一泊した日月潭という湖（台湾に天然の湖は少ないらしい）のすぐそばであった。夜は近くのお寺の明かりが闇に沈んでいる湖の水面に映り幻想的だった。

翌日は、60メートルにも及ぶ厚さの泥炭が広がる地域に赴いた。そこは地盤が軟弱であり、建てられた建物はそれ自身の重さで傾いていた。また湿地を歩くのは一苦労で文字通り“泥沼にはまる”こととなった。

最後にはグループのメンバーと協力し英語で発表した。自分の英語でみんなに伝えるべ

きことを表現でき、最高の形で締めくくることができた。協力することの難しさやそれにより得られるものの大きさを実感した。また、地質について興味を持たせてくれた有意義な時間だった。



左から地震により崩れた校舎、日月潭、測量した断層

3. (サブ) カルチャー交流

授業が終わった後の自由時間は師範大学の学生サポーターの方と近くの夜市や観光地と一緒に出掛けた。

夜市では手ごろな価格で様々な食べ物や雑貨が売られていた。タピオカなどをたくさんトッピングした大きなかき氷を3~4人で食べたのは今でも思い出に残っている。

龍山寺では何人もの神様が祀られていた。台湾ではありがたい神様は宗教に関わらず祀るらしく日本と似ているなあと思いつつ、三国志の武将関羽（商売や学問の神様、関聖帝として祀られている）と対面したときの感動は忘れられない。

最終日の前日、電車とクレイジーなバスを乗り継ぎつつ海に臨む運河、淡水まで出かけ美しい景色にこれまでの疲れを忘れるように見とれていた。その帰りには台湾、日本人ともに漫画、アニメ好きが偶然集まったこともありお気に入りの作品やキャラクターなどの話をしながらアニメショップに寄るなど大いに盛り上がった。台湾では日本の漫画、アニメが受け入れられ、特に漫画の翻訳が待ちきれないときは日本語の物を自ら読むため、漫画は日本語の教材だと語っていた。久しくアニメや漫画を見ていなかった私もその面白さを改めて感じた。今でもそのメンバーとは時々やり取りがある。



左から淡水、龍山寺、かき氷

4. 終わりに

台湾では日本企業の店舗、製品を見かけた。中には日本語表示で売られているものもあった。さらに、歴史的背景もあり、日本語を学び、話す人と出会った。ここまで海外で日

本を感じる国は初めてであり、印象的だった。また帰国してから読んだ本から、山口県も台湾との関わりが多い地域であることを知った。

私はそれまで外国語に関して英語さえ使えればいいと思っていたが、師範大の学生さんが日本語を使い話してくれた姿を見て、自分の考えを反省した。英語以外の言語を本格的に学ぶ余裕が持てない自分のできることは何かと思ったところ、相手の国の挨拶や習慣を少しでも学ぶ努力や自分のつたない英語を上達させることではないかという結論に至った。

今回のプログラムできめ細やかな配慮で私たちに関わっていただいた先生方、スタッフの方、サポーターの学生さん、一緒に活動していただいた関西学院大学、山口大学の学生の皆様に改めて深く感謝しお礼申し上げます。